

市区町村名	愛媛県松前町	担当部署	保健福祉部町民課
		電話番号	(089) 985-4117

1 取組事例名

ひまわり咲くバイオマスタウンまさきの挑戦
 ～ひまわり油と使用済み食用油を利活用した環境にやさしいまちづくりを目指して～

2 取組期間

平成18年度～（継続中）

3 取組概要

環境にやさしいまちづくりを目指したバイオマス推進事業を実施。
 地域住民が栽培したひまわりの種から採れた油と、町民から回収した使用済み食用油をバイオディーゼル燃料に精製し、町の公用車や町内を巡回するコミュニティバスの燃料として使用することで、地球温暖化と水質汚濁の防止を図り、美しいまちづくりや環境づくりを目指す。

4 背景・目的

愛媛県が推進する「えひめバイオマスプロジェクト」のモデル町として、平成18年度から町花ひまわりを活用したバイオマス推進事業を開始した。
 ひまわりの栽培や使用済み食用油の回収を通して、地域住民と行政が協働してバイオマスの利活用に取り組むことで、資源のリサイクルを推進し、環境にやさしい、環境への負荷が少ない循環型社会の形成を目指す。

5 取組の具体的内容

ひまわりの栽培は平成18年度から住民が遊休農地を利用し、播種作業から定植・収穫作業を実施。
 種から採取した油は、町内の保育所の給食や地域のバザー等で使用され、その後は使用済み食用油として回収する。
 平成20年度からは、町内6箇所に専用の油回収ボックスを設置し、住民が家庭から出た使用済み食用油を持ち込めるようにして回収している。
 回収した使用済み食用油は、バイオディーゼル燃料に精製され、町の公用車1台と町内を巡回するコミュニティバス（ひまわりバス）の燃料に利活用されている。

使用済み食用油回収量		
年度	回収量 (kg)	うち、回収BOX による量
18	2,758	
19	3,088	
20	3,636	664
21	2,403	1,671
22	6,973	2,579
23	7,873	3,475
24	9,222	3,095
25	9,224	2,757
26	7,938	2,595
27	7,678	2,951

ひまわりの種収穫量及び搾油量			
年度	作付面積(a)	収穫量(kg)	搾油量 (ℓ)
18	93	762	92
19	118	1,376	174
20	107	1,306	139
21	81	1,205	159
22	115	1,348	146
23	96	869	126
24	96	1,279	198
25	78	1,760	144
26	78	1,470	86
27	68	1,280	150

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

ひまわりの栽培は、行政主体ではなく地域住民が一体となって主体的に取り組んでいるため、住民間の連帯感が生まれ、地域のコミュニティ力の向上にもつながっている。

ひまわりバスのバイオディーゼル燃料の使用は、路線バスとしては県内で初めての取組であり、全国的にも事例は少ない。

7 取組の効果・費用

バイオディーゼル燃料を使用することは、従来の化石燃料と比較して二酸化炭素の排出量を削減することができ、地球温暖化対策に寄与するとともに、回収した使用済み食用油を使用していることにより、河川等の水質汚濁の防止やごみの減量にもつながる。

また、ひまわりの栽培を地域が行っていることから、開花時には、地域が主体となって、「ひまわり祭り」を実施したり、種を搾油したひまわり油を地域の文化祭のバザーで活用する等、地域のコミュニティ活動の活性化及び地球温暖化防止の意識を啓発する活動にもなっている。

<取組による二酸化炭素削減量>

町公用車：478kg（平成21年度～平成27年度実績）

町内巡回バス（ひまわりバス）：1,440kg（平成28年8月～平成29年3月までの見込み）

<費用>

平成 18 年度	1,611,000 円
平成 19 年度	1,695,000 円
平成 20 年度	2,758,000 円
平成 21 年度	2,072,000 円
平成 22 年度	2,273,000 円
平成 23 年度	2,374,000 円
平成 24 年度	2,043,000 円
平成 25 年度	1,996,000 円
平成 26 年度	1,766,000 円
平成 27 年度	1,730,000 円
平成 28 年度	1,883,000 円 (内、ひまわりバス B5 燃料使用による費用 189,000 円)

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦勞した点）

使用済み食用油の回収については、家庭からの回収量が平成 23 年度以降伸び悩んでいる。
町内でバイオ燃料の利用が進んでいないため、まずは町の公用車をはじめ公共施設の熱源機器での利用拡大に努めたい。

9 今後の予定・構想

バイオディーゼル燃料の使用を普及拡大するため、公用車や公共施設に設置されているボイラー等の熱源機器への使用を推進する。

ひまわりバスのバイオディーゼル燃料使用に伴い、車体にバイオ燃料使用のステッカーを貼ったひまわりバスが町内を走ることで、使用済み食用油が有効に活用されていることを住民にアピールできるため、これを契機に使用済み食用油の回収量アップを目指す。

10 他団体へのアドバイス

資源のリサイクル推進や環境にやさしい・環境への負荷が少ない循環型社会の形成を目指したバイオマスの取組を、いかにして住民に浸透させ、巻き込ませるかを念頭に事業の仕組みを考えた。

住民にひまわりの栽培や使用済み食用油の回収に協力してもらうことにより、住民と行政の協働で事業を進める仕組みを形成できた。

11 取組について記載したホームページ

<http://www.town.masaki.ehime.jp/soshiki/4/1313.html>